

単元名

あが町じまん～アガデミア探検隊～
アガデミアを紹介しよう

令和2年 2月4日(火)

第3学年

男子55人 女子44人 計99人

ワークスペース・教室

本単元で育成を目指す資質・能力

知識・技能

思考力・判断力・表現力

自らへの自信

思いやり・感謝・貢献

1 単元について

単元観

阿賀には、「アガデミア」と呼ばれる教育施設が集中している地域がある。阿賀小学校をはじめ、阿賀中学校、呉南特別支援学校、呉高等学校、呉工業高等専門学校、呉高等技術専門学校、広島文化学園大学という7つの教育施設が連携を行い、地域の教育環境向上を目指している。

各学校は、地域に向けて学校の特色を生かした行事を行うことで貢献しており、本校児童の中にもこれらの行事に参加したことがあるものは多い。しかし、各教育施設が行事を多く行っている一方で、その学校で何を学んでいるのかについては、児童はあまり知らない。

以上のことから、阿賀のじまんとして「アガデミア」の教育施設を紹介するため、児童の意欲的な活動が期待されるとともに、互いに協力して活動していくことが大切になってくる単元である。

児童観

児童は、本年度初めて総合的な学習の時間に取り組む。すべての児童が学習に対して意欲的であり、友達と協力して課題に取り組むことにも意欲的である。

その一方で、自校アンケートによると、「自分は説明することが得意である」という設問に対して、肯定的評価をした児童は32%と非常に低かった。個々の理由としては「伝え方が分からない」や「まとめるのが苦手」といったものがあり、説明することに苦手意識を持っている児童が非常に多いことが分かる。

また、「アガデミアにどんな学校があるか」問いかけた際には、隣接されている呉工業高等専門学校や阿賀中学校と回答している児童が非常に多かったが、他の学校を回答している児童は10%にも満たない。このことから、児童の中に「アガデミア」が浸透していないことが分かる。

指導観

【生徒指導の三機能との関連】

「共感的人間関係を育成する」機能を生かして、自分が思ったことや感じたことを交流させることを中心に学習を展開する。各学校へ調査に行く際には、質問する内容を子どもたちが考える。自分たちの調べたい内容を聞き出すためには、どんな質問をすれば良いかお互いに意見を交流することで、協力する意識を高めると共により良い調査活動ができるようにさせる。また、調査した内容を分かりやすく発表するために、どうすれば良いかグループ内で共に考えさせる。これによって、児童に友達が様々な意見を持っていることと、互いに協力することでよりよい発表をすることができることを確認させる。

【資質・能力の育成】

「知識及び技能」については、実際に調査活動をしたり、発表内容を考えたりする中で、問題を発見し、課題を設定、解決していく中で育成する。「思考力・判断力・表現力」については、課題を解決するための方法や手順を協力して考えていく中で育成する。「自らへの自信」については、自分たちの力で課題を解決していく中で育成する。「思いやり・感謝・貢献」については、友達と共同して課題を解決する中で友達と助け合うことや、調査に協力していただいた諸機関にお礼をすることや、調査内容を保護者や地域の方へ発表していく中で育成していく。

【阿賀中学校区研究主題との関連】

互いの意見を交流し合い、認め合いながら課題を解決していくことで、児童は、友達と協力することの良さに気付くことができる。1人では解決が難しいことも、友達と力を合わせることで解決していくということは、生徒指導の三機能の内、「共感的人間関係」の育成につながると考えられる。また、意見が尊重される環境の中で、積極的に意見を発表したり、協力して課題に取り組んだりすることで、「主体的に学び、ともに伸びようとする児童」を育成していく。

2 単元の目標

- アガデミアの6つの学校に訪問し、その学校の特徴や良さを聞いたり調べたりすることを通して、アガデミアについて深く知り、町の自慢として感じ取ることができる。
- 発見したこと、感じたことなどをまとめたり、発表したりする活動を通して、自分の活動を振り返ったり、アガデミアについて理解したりすることができる。また、アガデミアに含まれる阿賀小学校の一員であることに誇りを持つことができる。

本単元で育てようとする資質・能力			
知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性等	
		自らへの自信	思いやり・感謝・貢献
① 調査活動を行っていく中で、「アガデミア」の学校の良さや魅力に気付くことができる。 ② 探究の過程を通して得た情報を活用し、発表原稿をつくることができる。	① 課題解決の方法や手順を考え、計画立てて取り組むことができる。 ② 分かりやすく「アガデミア」情報をまとめたり、表現したりすることができる。	○ 課題解決に向けて自分にできることを考え、行動することができる。	① 友達と協力して課題を解決することができる。 ② 自分たちの活動に協力してくれた人へ感謝の気持ちを伝えることができる。

単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性等	
		自らへの自信	思いやり・感謝・貢献
① 調査活動を行っていく中で、「アガデミア」の学校の良さや魅力に気付いている。 ② 探究の過程を通して得た情報を活用し、発表原稿をつくられている。	① 「アガデミアを紹介する」という課題を解決するために、計画を立てて取り組んでいる。 ② 「アガデミアを紹介する」ため、分かりやすく情報をまとめたり、表現したりしている。	○ 自分から積極的に意見を出したり、行動したりしようとしている。	① 友達と協力して課題を解決しようとしている。 ② 調査に協力してくれた「アガデミア」の諸学校に対して、心を込めてお礼の手紙を書いている。

3 指導計画（全 30 時間）

次	時	学習内容	評 価				評価規準（評価方法）★資質・能力
			知・技	思いやり	自信	思慮	
一	1	課題の設定 「あが町じまん」の学習の見通しを持つ。	◎				◎ 阿賀の町の良さを出し合い、その内から「アガデミア」について取り上げて学習することを知る。 (行動観察) ★【知識・技能】
二	2	課題の設定 情報の収集 「アガデミア」について知る。	◎				◎ 提示された「アガデミア」についての資料をワークシートにまとめることで、詳しく知る。 (ワークシート, 行動観察) ★【知識・技能】
三	6	情報の収集 「アガデミア」調査のための事前学習を行う。	◎	○	○		◎ 自分が訪問する学校の特色をパンフレット、インターネットなどの資料から調べ、質問する内容を考えている。 (ワークシート, 行動観察) ★【知識・技能】
四	4	情報の収集 「アガデミア」調査に出かける。	◎	○	○	○	◎ それぞれの学校を訪問し、先生の話の聞いたり、学生たちが学習している様子を見たりして、学校の特徴や良さに気付く。 (ワークシート, 行動観察) ★【知識・技能】
五	10	整理・分析 調査した内容をまとめ、発表の準備をする。 【本時】	○	◎	○	○	◎ グループで学んできたことをワークシートにまとめ、保護者や地域の方に発表するための計画を立てる。 (ワークシート, 行動観察) ★【思考力・判断力・表現力】
六	4	まとめ・表現 「アガデミアきらり発表会」を行う。		◎	◎	○	◎ 「アガデミアきらり発表会」で、学んだことを発表したり、他のグループの発表を聞いたりする。 (行動観察) ★【思考力・判断力・表現力】 ◎ 自分から積極的に意見を出したり、行動したりしようとしている。(行動観察) ★【自らへの自信】
七	3	整理・分析 課題の設定	○	◎	○	◎	◎ 今回の学習で学んだことや自分に付いた力を振り返る。また、今回の調査から感じた疑問や更

		学習内容を振り返り，新たな課題を設定する。					<p>に知りたいことなどから新しい課題を設定する。 （ワークシート，行動観察）</p> <p>★【思考力・判断力・表現力】</p> <p>◎ 調査に協力してくれた「アガデミア」の諸学校に対して，心を込めてお礼の手紙を書いている。 （ワークシート，行動観察）</p> <p>★【思いやり・感謝・経験】</p>
--	--	-----------------------	--	--	--	--	---

4 授業展開（22／30 時間）

（1） 本時の目標

グループ内で発表を聞き合い，調査したことをより分かりやすく伝えるためには，どうすればよいか互いの意見を交流し，発表内容をよりよくすることができる。

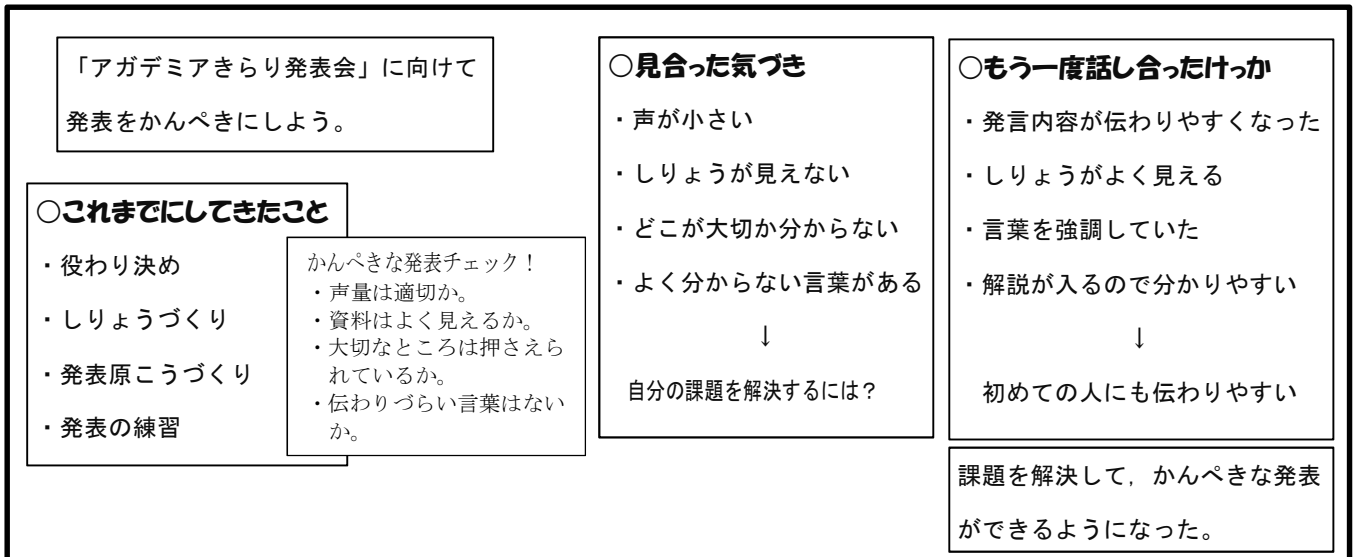
【資質・能力／**思考力・判断力・表現力**】

(2) 本時の展開

	学習活動	○指導上の留意点 ☆生徒指導の三機能につながる手立て ◆「支援を要する」児童生徒への手立てなど	○具体の評価規準 (評価方法) ★資質・能力
課題の設定	1 前時からの活動内容を確認する。	○ グループ内での資料作成や発表練習などこれまでやってきたことを確認させ、本時では発表内容や表現方法をさらによいものにすることを確認させる。 ○ 参観日に保護者が発表を見ることを楽しみに待っていることを伝え、意欲を持たせる。	
	2 本時の課題を確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「アガデミアきらり発表会」に向けて発表をかんぺきにしよう。</p> </div>	
整理・分析 情報の収集	3 発表を見合い、自分たちの課題を確認する。	○ グループ内で発表を見合い、「かんぺきな発表」をするために自分たちに足りないことを見つけさせ、課題設定をさせる。 ○ グループ内であっても、初めて聞く人や、見る人の立場に立って発表を交流させる。 ○ もらった意見には素直に傾聴し、より良い発表にしていこうという意識を持たせる。 ◆ チェック項目を示し、どのような点に気をつければよいか確認する。	
	4 課題を解決するにはどうすれば良いか話し合う。	○ 自分たちの課題を解決するために話し合い、より発表の質を高めさせる。 ○ グループ内で上手に出来ている友達がいれば、コツを聞いたり、上手いかない友達にアドバイスしたりさせる。 ◆ 発表用の原稿に「大きな声で言う」や「ゆっくりと」のような注意点をメモさせ、それを見ながら練習できるようにする。	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 20px; margin: 20px auto; width: 80%;"> <p>【共感的人間関係を育成する】</p> <p>☆課題解決に向けた話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○君が言う通り、資料の見せ方を変えて、お客さんがもっと見えやすいようにしよう。 ・ここは大切な言葉だから大きな声で強調して言おう。 ・「○○」という言葉は難しい言葉だから、意味も伝えよう。 </div>			

まとめ 表現	5 再び発表を見合い、課題が解決されているか確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の課題を意識して発表させることで、課題を解決することができ発表内容がより良いものになっていることを確認させる。 ○ 見ている側は、先ほどよりも良くなっているところには肯定的なコメントをさせることで意欲を高めさせる。 	<p>★ 自分の課題を解決するための方法を考え、発表内容を改善することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】</p>
	課題を解決して、かんぺきな発表ができるようになった。		
振り返り	6 振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 次時の本番に向けて、どのようにしたから良い発表にすることができたかを振り返らせると共に、これまでの学習の成果を発表する機会であることを意識させ、本番への意欲を高めさせる。 	

5 板書計画



6 成果と課題

○成果

【知識・技能】

- ・児童が今まで知らなかった「アガデミア」への理解を深めることができ、地域への親しみを持つことができた。

【学びに向かう力・人間性等】

- ・児童から「これがしたい」や「もっとこれを知りたい」といった主体的に発言する姿が見られ、活動も積極的に行うことができていた。
- ・発表の練習を綿密に行うことで、児童が自信を持って発表することができていた。また、自分のことだけでなく、友達の発表のしかたに助言・アドバイスをすることができるようになったり、各グループ全員で発表内容を良くしたりすることができるようになった。

●課題

【学びに向かう力・人間性等】

- ・各グループ小人数ながら、自分で課題解決の方法を見つけられず、教員や同じグループの友達の手助けを必要とする児童への指導が不十分であった。

【思考力・判断力・表現力】

- ・「アガデミアの紹介をする」学習過程で、課題解決の方法や手順をしっかりと考えさせたり、計画立てて、表現を工夫させたりする時間や場の設定が不十分だった。そのため、児童の思考力・判断力・表現力を十分に伸ばすことができなかった。